

# 河川整備計画(維持管理)の 目標・整備メニュー(案) 補足説明

維持管理におけるハード、ソフト対策の区分

維持管理メニュー(案)の区分

災害対応力の向上及び連携、協働した河川管理



# 維持管理におけるハード、ソフト対策の区分

## 1) ハード、ソフト対策の定義

### 【ハード対策】

河川管理施設の機能の維持や防災活動拠点の機能確保のための対策

### 【ソフト対策】

施設整備を主とせず、減災のため、あるいは安全で快適な河川利用を行うために、地域と調整を図った上で実施していく対策



## 2) ハード、ソフト対策の区分

### 「減災対策」における区分

#### 【ハード対策】

河川管理施設の機能の維持、適切な管理  
防災活動拠点の機能確保  
流下能力の維持

#### 【ソフト対策】

河川管理施設の適切な操作  
洪水時の防災情報の収集・伝達  
防災意識の向上  
洪水時等の連携体制の確立  
排水ポンプ運転調整ルールの的確な運用、基準の見直し



# 「河川空間の管理、利用」における区分

## 【ソフト対策】

堤防道路のあり方の検討

占用家屋の移転促進

許可工作物の適正な管理、改築指導

高水敷などの適正な利用の促進

ホームレス自立支援に向けての対策の推進

地域と協働した河川管理の推進

地域住民、市民団体の活動支援



# 維持管理メニュー(案)の区分

## 1) メニュー(案)の区分の定義

### 継続して実施していくメニュー

- ・従前より実施しており、今後も継続して実施していくメニュー

### 充実を図るべきメニュー

- ・従前より実施している減災対策や、適正な河川管理、安全かつ快適な河川利用を推進するために、更に充実を図っていくべきメニュー  
(住民意識の変化や、関係機関、関係者等と調整し、合意形成を図る必要がある)



## 2) メニュー(案)の区分

### 継続して実施していくメニュー

#### 【減災対策】

河川管理施設の機能の維持、適切な管理

(河川巡視、施設管理、補修、堤防除草)

防災活動拠点の機能確保

(水防拠点、水防倉庫の維持管理、水防資機材、  
災害対策車の常備、第二種側帯の整備)

流下能力の維持

(堆積土砂の掘削、河道内樹木の管理)

河川管理施設の適切な操作

排水ポンプ運転調整ルールの的確な運用、基準の見直し



## 【河川空間の管理、利用】

占用家屋の移転促進

許可工作物の適正な管理、改築指導



# 充実を図るべきメニュー

## 【減災対策】

### 洪水時の防災情報の収集、伝達

- ・関係機関と確実な情報の共有化を推し進める。
- ・地域住民等への情報の提供にあたり、より迅速でわかりやすく、多様な提供方法を検討し、実施していく。

### 防災意識の向上

- ・自治体の防災、危機管理能力を高めるための支援内容の充実を図る。  
(ハザードマップの見直し、ロールプレイング方式の情報伝達演習実施の支援など)
- ・地域と連携した防災訓練等を実施し、連携を深める。
- ・防災教育、防災講座等を実施し、治水の現状や水害についての地域住民の理解を深める。



## 洪水時等の連携体制の確立

- ・水防協力団体の育成と水防団との連携を高める。
- ・関係企業や防災エキスパート等との協力体制を確立し、迅速な対応ができるよう努める。
- ・災害対策車等の有効活用を進める。

## 【河川空間の管理、利用】

### 堤防道路のあり方の検討

- ・堤防道路が抱える数々の課題を改善するため、現在進めている「庄内川堤防道路検討会」及び「庄内川出水時規制調整会議」での議論を踏まえ、改善を図っていく。

### 高水敷等の適正な利用の促進

- ・不法投棄や迷惑行為等の注意喚起を図るための手法、河川利用者、市民団体等の協力による監視方法等を検討し、実施していく。



## ホームレス自立支援に向けての対策の推進

- ・土岐川・庄内川の河川敷では、職や住居を失うなどの事情により、ホームレスの方々が河川内に居住することを余儀なくされている社会状況がある。しかし河川は洪水により、ホームレスの方々の生命が危険にさらされることがあり、居住に適した場所ではない。この状況を市民、企業、行政が理解し、ホームレスの方々の現状や意向を把握しながら、人権を第一に、地方公共団体、市民、支援団体、企業等と連携を図りながら、自立を支援していく。

## 地域と協働した河川管理の推進

- ・高水敷等の適正な利用を推進するため、地域住民と協働した河川管理を推進する。
- ・河川清掃活動を進め、広げていく。
- ・庄内川アダプト事業を推進していく。

## 地域住民、市民団体の活動支援

- ・地域住民や市民団体のワークショップ等の活動を支援していく。



# 災害対応力の向上及び連携、協働した河川管理

地域住民の防災意識と災害に対応する能力を向上させるため、また地域と連携、協働した河川管理を推進していくためには、啓発活動が重要となる。

そのため、広報誌やホームページ等による啓発のほか、次のような機会を通じ、防災や河川の適正な利用に関する啓発活動を行っていく。

防災訓練、防災教育、防災講座  
アダプト活動、川ナビ活動  
川と海のクリーン大作戦などの河川清掃活動  
土岐川・庄内川交流会  
土岐川・庄内川流域ネットワーク  
土岐川・庄内川安全な河川利用連絡会

